

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		市街地の再開発促進事業		款	5	項	1	目	2	事業	3	整理番号	374						
担当部課名		都市整備部まちづくり推進課		係名	地区整備係		連絡先電話番号		3372		昨年度整理番号	368							
上位施策No・施策名		4 都市機能の充実		予算事業区分								既定事業							
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	44	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	1	施策番号	2	事業コード	7	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市街地再開発事業などの民間再開発を行おうとする者																	
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○民間再開発事業を支援する。																	
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○民間再開発事業の相談や指導を行う。 ○助成制度を活用し、民間再開発事業の活動支援を行う。																	
根拠法令等		(1) 都市計画法、都市再開発法 (2) 杉並区市街地再開発事業補助金交付要綱																	
活動指標名(式)		(1) 民間再開発に関する助成金額 (2) 民間再開発に関する相談・指導回数																	
成果指標		※(代) = 適当な指標がない場合の代替指標																	
成果指標名(1)		再開発準備組織数																	
算定式・指標の説明等																			
成果指標名(2)		民間再開発事業完了地区数																	
算定式・指標の説明等																			
区分	単位	20年度		21年度		22年度		23年度計画	計画(目標値)に対する22年度の達成率 %										
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績													
指標	活動指標(1)	①	千円	0	176600	144600	251600	251600	0	100.0									
	活動指標(2)	②	回	144	150	145	150	135	150	90.0									
	成果指標(1)	③	団体	1	1	1	2	2	1	100.0									
	成果指標(2)	④	地区	0	0	0	1	1	1	100.0									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	238	148,231	146,633	251,931	251,730	271	22年度予算執行率%	99.9								
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	251,600	251,600	0	特記事項									
	(内) 委託費	⑦	千円	0	3,115	1,785	5	0	5										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.61 0.00	2.70 0.00	2.84 0.00	2.70 0.00	2.70 0.00	0.70 0.00										
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	5,521	23,973	25,216	24,084	24,084			6,244							
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0							
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	5,759	172,204	171,849	276,015	275,814	6,515										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円		975	1,188	97	96											
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0							
		国からの補助金等	⑭	千円	0	88,300	72,300	125,800	125,800			0							
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0			0							
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0			0							
		特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	0	88,300	72,300	125,800	125,800			0							
差引: 一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	5,759	83,904	99,549	150,215	150,014	6,515										
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 374

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				阿佐ヶ谷駅南口地区優良建築物等整備助成	1
		他団体負担金	2	団体	110
		その他 (事務用品等の購入)			20
	(2) 事業実績	阿佐ヶ谷駅南口地区優良建築物等整備事業に対して、区は補助制度を活用し、その事業費の一部の助成支援を行いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="一部実現している"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text" value="企業・個人事業者((3)へ)"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text" value="協働[補助・助成]"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="推進"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	個人財産に影響を及ぼす事業のため、権利の調整が難しい事業です。経済の低迷時には事業採算も難しく、事業化に至らないものも多くあります。都市再生は国の重要な事業で、様々な制度が創設されています。これらの複雑化した制度の活用や誘導など、適切な対応が求められています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	事業施行者からは、事業推進に向けての助成の拡充を望まれています。その一方で、近隣住民からは、再開発により、住環境が著しく変化することが予想されるため、周辺住宅地等に及ぼす影響が大きいとの意見があります。
	今後の予測	地価の変動をはじめ、経済動向などの社会情勢の影響を大きく受けながら推進していくと予想されます。

評価と課題	民間再開発事業については、将来の都市機能の更新や充実に結びつくものであるため、区は、地権者や事業者にまち全体を計画する立場からの指導・助言と許認可の権利を有すると同時に、まちづくりの計画者としての責任があります。再開発事業は、周辺住宅地の環境等に及ぼす影響が大きいため、事業者や周辺住民等の意向を確認しながら、調和のとれた計画づくりを誘導していかなければなりません。
-------	---

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
	再開発準備組織が、再開発の構想づくりや計画づくりを進めていく際に、専門家による調査・研究・助言などが必要となりますが、その費用の調達方法が困難であり、活動を進めて行く上で大きな障害となっています。今後、様々な補助制度を活用し、再開発準備組織の活動の支援を行っていく必要があります。		

特記事項	阿佐ヶ谷駅南口地区優良建築物等整備事業については、平成23年3月に工事竣工のため、経費が大幅に減となります。また、再開発準備組織に対しては、活動の進捗にあわせ支援を進めていきます。
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		永福町駅周辺整備		款	5	項	3	目	1	事業	13	整理番号	418						
担当部課名		都市整備部まちづくり推進課		係名	地区整備係		連絡先電話番号		3372		昨年度整理番号	413							
上位施策No・施策名		4 都市機能の充実		予算事業区分								投資事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	18	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	1	施策番号	2	事業コード	6	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 ○当該駅を横断する踏切等の利用者及び当該駅利用者																	
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○南北自由通路を整備、踏切による交通混雑の緩和 ○バリアフリー施設の設置による、当該駅周辺の安全性と利便性の向上																	
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○駅周辺整備 駅舎橋上化、駅前広場の整備、南北自由通路の設置、バリアフリー施設の整備(国庫補助事業活用)																	
根拠法令等		(1) 地方自治法第281条第2項 (2) 杉並区まちづくり基本方針																	
活動指標名(式)		(1) 南北自由通路設置補助金額 (2) 南北自由通路調査・設計委託補助金額																	
成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)南北自由通路設置進捗率 算定式・指標の説明等 実績累計÷目標値×100 成果指標名(2) (代)調査・設計進捗率 算定式・指標の説明等 実績累計÷目標値×100																	
区分	単位	20年度		21年度		22年度		23年度計画	計画(目標値)に対する22年度の達成率 %										
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績													
指標	活動指標(1)	①	千円	156,000	504,000	0	504,000	504,000	0	100.0									
	活動指標(2)	②	千円						0										
	成果指標(1)	③	%	22	100	57	100	100	0	100.0									
	成果指標(2)	④	%						0										
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	156,112	504,100	6	504,000	504,000	0	22年度予算執行率% 100.0									
	(内)投資的経費等	⑥	千円	156,089	504,000	0	0	0	0	特記事項 ○本整備事業は、平成19年度に工事着手し、平成22年度竣工しました。 ○調査・設計については、平成19年度に完了したため、平成20年度以降の数値等は空欄としています。									
	(内)委託費	⑦	千円	23	0	0	0	0	0										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.26 0.00	2.80 0.00	3.18 0.00	0.80 0.00	0.80 0.00	0.00 0.00		0.00 0.00								
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	20,453	24,861	28,235	7,136	7,136		0								
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0		0								
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	176,565	528,961	28,241	511,136	511,136	0										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	131	50		1,014	1,014											
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0		0								
		国からの補助金等	⑭	千円	78,000	252,000	0	0	0		0								
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0		0								
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0		0								
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	78,000	252,000	0	0	0	0										
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	98,565	276,961	28,241	511,136	511,136	0										
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0												

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 418

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
			永福町駅 南北自由通路新設整備工事(補助)	1	件
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	本整備事業で、駅南口の新設、南北自由通路、エレベーター、エスカレーターを設置しました。南口の新設、駅の南北地域を結ぶ南北自由通路の設置により駅周辺の安全性・利便性が向上しました。また、エレベーター、エスカレーターを計画的に設置したことで、誰もが快適に利用できる駅を中心としたバリアフリー区域が実現しました。			

協働等点検	(1) 協働等の実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	1日の乗降客数は約30,000人(平成20年)で、近年微増しているが、大きな変化はありません。駅の南北アクセス機能がかけていましたが、南北自由通路の設置により、駅に隣接し大変混雑する危険な踏切が解消されました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	地域住民から、南北アクセス機能の向上について期待されており、事業の早期実現が望まれていました。
	今後の予測	本事業と連動し、南北のアクセス機能の利便性、バリアフリー化が駅周辺地域に拡大していくと予想されます。
	評価と課題	本整備事業は、地元関係者からの要望に対応するために、工程の大幅な変更をし、工事期間の延伸を行いました。その後の事業の進捗については、概ね順調に進み事業完了しました。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	○ 現 状 維 持	○ 縮 小	● 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更		○ 実施方法の変更	
	駅南口の新設、南北自由通路等が竣工したので整備計画については、一旦区切りをつけます。					

特記事項	本整備事業については、平成22年度末に完了しました。
------	----------------------------

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		高円寺駅周辺整備		款	5	項	3	目	1	事業	14	整理番号	419						
担当部課名		都市整備部建設課		係名	街路整備係		連絡先電話番号	3435		昨年度整理番号	414								
上位施策No・施策名		4 都市機能の充実		予算事業区分								投資事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	17	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	1	施策番号	2	事業コード	6	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 高円寺駅及び周辺道路利用者(車両運転者、沿道住民等すべてを含む)です。																	
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○駅前広場としての機能の充実や、地域住民の交通の利便性と安全で快適な歩行空間の確保を図るため、駅前広場や周辺道路の整備を行い、まちの活力を向上させます。																	
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○地域住民の交通の利便性と安全で快適な歩行空間の確保を図るため駅前広場や周辺道路の整備を行う。 ○駅前広場の整備は、平成20～22年度で行い、竣工後随時供用開始する。																	
根拠法令等		(1) 道路法16条1項 (2) 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律																	
活動指標名(式)		(1) 高円寺(北口・南口)駅前広場整備完成面積(累計) (2) 高円寺駅周辺整備完成面積(累計)																	
成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標																	
成果指標名(1)		高円寺(北口・南口)駅前広場整備完成率																	
算定式・指標の説明等		完成面積÷計画面積×100																	
成果指標名(2)		高円寺駅周辺整備完成率																	
算定式・指標の説明等		完成面積÷計画面積×100																	
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %								
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績								
指標	活動指標(1)	①	m ²	1,680	4,380	4,380	6,230	6,230	6,230	100.0									
	活動指標(2)	②	m ²	1,680	5,450	5,450	9,370	7,300	9,370	77.9									
	成果指標(1)	③	%	27.0	70.3	70.3	100.0	100.0	100.0	100.0									
	成果指標(2)	④	%	17.9	58.2	58.2	100.0	77.9	100.0	77.9									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	93,826	208,027	205,225	183,232	136,386	0	22年度予算執行率%		74.4							
	(内)投資的経費等	⑥	千円	93,778	207,960	205,176	183,232	136,386	0	特記事項 都市計画道路の整備事業と合併契約している、高円寺駅前広場(Ⅲ期)・補助227号線概成区間整備工事が、占用企業者の先行工事、警視庁のパーキングメーター設置工事に遅れが生じたため、23年度に繰越となりました。									
	(内)委託費	⑦	千円	93,778	207,960	205,176	183,142	136,370	0										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.98 0.00	1.33 0.00	1.36 0.00	0.53 0.00	0.48 0.00	0.11 0.00										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	8,869	11,809	12,075	4,728	4,282				981						
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0										
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	102,695	219,836	217,300	187,960	140,668	981										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	5,308	2,711	2,768	759	687	157										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0				0						
		国からの補助金等	⑭	千円	4,400	1,650	0	0	1,650				0						
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0										
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0										
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	4,400	1,650	0	0	1,650	0										
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	98,295	218,186	217,300	187,960	139,018	981										
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 419

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				高円寺駅前広場整備工事(Ⅱ期)	1
		高円寺駅前広場(Ⅲ期)・補助227号線概成区間整備工事(都市計画道路の整備事業合併契約)	1	件	20,250
				件	
				件	
		その他(事務用品の購入ほか)			16
	(2) 事業実績	北口・南口駅前広場の整備工事が完了し、歩道部が拡幅され、段差のない歩きやすい歩行環境が整備されました。また、貴重な駅前大きな公共空間が確保され、地元から様々な利用方法が提案されています。また、北口と南口を結ぶ道路の整備工事に、都市計画道路の整備事業と合併契約の形で着手しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	高円寺駅舎のバリアフリー対策の完了及びホテル建設が完了しオープンしました。座・高円寺(杉並芸術会館)が開館しました。高円寺駅前広場整備工事(Ⅰ期)で北口駅前広場が、高円寺駅前広場整備工事(Ⅱ期)で南口駅前広場が完成しました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	駅前広場について、商店や地域の活性化を図るため、高円寺をイメージする演出、水や緑による個性の創造、憩いの場やイベントが行える空間の整備などの要望が寄せられました。広場整備後の予期しないスケートボードなどによる不適切な利用について、改善を求める要望が届いています。
	今後の予測	座・高円寺、北口・南口駅前広場が完成し、23年度に北口と南口を結ぶ道路の整備も完了する予定です。
	評価と課題	JR高円寺駅駅前広場については、これまでの地元の意見・要望を踏まえ、交通管理者等関係機関との調整を図り、整備計画を策定し、平成20年10月に北口駅前広場の整備工事から着手し、平成22年9月に南口駅前広場整備工事を完了しました。平成23年度中に、杉並芸術会館もある阿波踊りや大道芸などのイベントのまち高円寺にふさわしい地元で愛される駅前広場の整備が完成する予定です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	Ⅰ 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		Ⅱ 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更
	22年度のⅢ期工事に関しての説明会を実施し、地域住民の理解と協力を求めるとともに、円滑な工事の進捗を図るため、関係企業、交通事業者、交通管理者との調整を綿密に行いました。しかし、先行する企業者工事、警視庁のパーキング設置工事の遅れにより23年度に繰越す結果となり、更なる改善を図っていきます。少数の反対意見が工事に影響を及ぼすことがありますが、意見を良く聞き、工事に反映できるものは反映し、根気よく理解と協力を求めています。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		荻窪駅周辺整備		款	5	項	3	目	1	事業	16	整理番号	420						
担当部課名		都市整備部まちづくり推進課		係名	地区整備係		連絡先電話番号		3372		昨年度整理番号	416							
上位施策No・施策名		4 都市機能の充実		予算事業区分								投資事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	1	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	1	政策番号	1	施策番号	2	事業コード	6	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		駅周辺地区		根拠法令等		(1) 都市計画法、都市再開発法 (2) 杉並区まちづくり基本方針											
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○駅周辺が、周辺住民及び駅利用者にとって安心して利用できる地区となるよう、整備計画を策定するとともに具体化を図る。		活動指標名(式)		(1) 地元住民への周知及び関係事業者等との打合せ回数 (2) 研究会・検討会等の開催回数													
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○平成21年度は、地元住民への周知・啓発活動及び関係事業者等との打合わせを行う。 ○平成21年度は、まちづくりについての調査研究、立案及び他機関との調整を行う。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標													
		成果指標名(1)		整備構想(整備計画)の策定数		算定式・指標の説明等		平成18年度からの累計策定数		成果指標名(2)		整備構想等に基づき具体化された事業箇所		算定式・指標の説明等					

区分	単位	20年度		21年度		22年度		23年度計画	計画(目標値)に対する22年度の達成率 %	
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績				
指標	活動指標(1)	①	回	32	36	30	36	32	0	88.9
	活動指標(2)	②	回	16	20	18	20	5	0	25.0
	成果指標(1)	③	件	3	4	5	4	4	4	100.0
	成果指標(2)	④	箇所	0	1	0	2	0	0	0.0
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	10,241	29,572	2,720	360,586	175,469	0	22年度予算執行率% 48.7
	(内)投資的経費等	⑥	千円	10,241	29,572	2,720	360,586	175,469	0	特記事項 ○平成23年度への事故繰越事業費 荻窪駅西口バリアフリー整備事業166,890千円 平成23年に西口バリアフリー整備を完了して、荻窪駅周辺整備事業は一区切りとします。 荻窪駅周辺地区は、今年度新設した都市再生事業のなかで、新たな整備計画を行っていきます。
	(内)委託費	⑦	千円	10,068	2,911	2,629	250,054	160,038	0	
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.44 0.00	1.80 0.00	1.89 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	0.10 0.00	
	人件費	⑨	千円	22,082	15,982	16,781	17,840	17,840	892	
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	32,323	45,554	19,501	378,426	193,309	892	
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	690,063	443,944	559,367	495,556	557,500		
	財源	⑬	千円	0	0	0	0	0	0	
	国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0	
都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	59,018	42,237	0		
その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0		
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	0	0	0	59,018	42,237	0		
差引:一般財源(⑪-⑰)	⑱	千円	32,323	45,554	19,501	319,408	151,072	892		
受益者負担比率⑱÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 420

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				荻窪駅北口駅前広場修景整備	1
		荻窪駅北口駅前広場時計塔設置工事	1	件	500
		西口バリアフリー整備	1	件	0
		その他 (通信運搬費、事務用品等の購入)			15,474
	(2) 事業実績	北口駅前広場整備については、都や関係機関と協議を重ね、広場内の修景整備(バス停の上屋の設置、植栽等)を完了しました。西口バリアフリー整備については、JR東日本と協力し、平成23年度第1四半期に完成します。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	JRの線路が高架ではない(地平駅)のため、駅南北方向における通行機能の不十分さや、商店街の分断化による回遊性の欠如及び狭小な駅前広場整備問題など、他のJR3駅と比べて都市の芯としての課題が多く、地元からの改善要望も強いものがあります。また、長年の懸案であった、駅前広場の整備が竣工しました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	北口駅前広場整備の早期実現を望まれています。南北自由通路の拡充や駅周辺の回遊性の向上を望まれています。
	今後の予測	誰もが安全で安心して行動できる、人にやさしいまちづくりの機運がさらに高まり、鉄道事業者による駅舎改良なども連動し、駅周辺機能の充実が図られ、南北の回遊性、バリアフリー化が推進していくと予想されます。
	評価と課題	荻窪駅周辺は、区内最大の交通ターミナルであり、商業サービスが集積した生活拠点にもかかわらず、他のJR3駅(高円寺、阿佐ヶ谷、西荻窪)と比べて南北方向の通行機能の不十分さや商店街の分断化による回遊性の欠如など、地域の課題が多いため、鉄道事業者や関係機関と協力し、バリアフリー化や駅周辺の整備を進めていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ○ 現状維持 ○ 縮 小 ● 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
	荻窪駅北口駅前広場修景整備事業及び西口バリアフリー整備事業について、平成23年度第一四半期に完了して、荻窪駅周辺整備事業は一区切りとします。 なお、荻窪駅周辺地区のまちづくりは、今年度新設した都市再生事業のなかで、新たな整備計画を検討し推進していきます。また、駅のバリアフリー化は単独の事業として進めていきます。		

特記事項	
------	--